

スポーツ川崎

より速く より強く より高く

川崎市体育協会
広報紙
＜創刊号＞
編集・発行
川崎市体育協会
広報委員会
TEL 200-3312
印刷所
（第一サソエー）
TEL 222-2356



「スポーツ川崎」 発刊にさいして

川崎市体育協会会長（川崎市長）
伊藤 三郎

このたび、私も川崎
市体育協会は、「スポー
ツ川崎」を発刊するこ
とになりました。

この小紙は、単に私
もの活動のPRのみなら
ず、広く市民のみな
に、スポーツのもつ素
晴らしさをご理解いた
一助になればと考
刊するものです。

市民の健康に対する関
心が強まり、生活水準の
向上や余暇の増大など
あいまって、市民のスポ
ーツへの欲求が、著しく
高まってきております。
ゆとりある、豊かな市民
生活は、なんといっても
心身共に健康であること
が、大切だと思います。
小紙が、みなさんのス
ポーツ活動にいさか
もお手伝いできれば、こ

れに勝る喜びはありませ
ん。

「スポーツ川崎」 発刊を祝して

川崎市教育長

岩淵 英之

昭和五十五年九月、貴
体育協会設立三十周年を
記念しての「川崎市体育
協会史」が発刊され、心
強く思っていたやさきに、
一〇〇余万市民のスポー
ツ活動に少しでも役立
てほしいとの願いをこめ
て、本「スポーツ川崎」
の発刊計画がねられてい
るとの報に接し、心から
うれしく、又、スポーツ
を愛する一人として心か
ら感謝するしだいで

スポーツは、現代の我
々の生活にとって欠くこ
とのできないものである、

との認識は確立されまし
たが、多くの市民はスポー
ツ活動の各種の情報（大
会・集い・教室等々）を
知り、スポーツ活動の機
会をとらえ、みずから進
んでプレーをしたいと考
えております。

この「スポーツ川崎」
が二号・三号……と
絶えることなく、又、時
代にあった多くの人々の
望む内容を整え、健康・
体力づくりの指針となる
ような紙面を期待し、発
刊のお祝いのごとばとい
たします。



外野席

独身時代に腰
を痛め、好きな
スポーツを断念
する気持になっ
たことがあった。
今から思うと少

し早計だったようだが、
そんな時に、何か出来る
ものからと思いついたの
が海釣りであり、それま
では直接海にもぐったり
して、魚や貝を採るほう
が手取り早いせいにか、釣
りの面白さを知らなかつ
たのかも知れない。
海岸からの投げ釣りでは、
余り教は釣れない事が多
いが、仕事を忘れ日曜日
の一日を、海を眺めなが
ら友人と過すのが唯一の
楽しみでもあった。結婚
後、女房と弁当持参で竿
をかつぎ、二、三回程出
かけた事もあったが、他
人はそれをとてもうらや
ましく思ったらしい。今
年は息子（小五）とは二
回目だが、青空のもと一
日久し振りに楽しんだ。

皆さんのスポーツ活動の
お手伝いをする


市体協加盟団体

(23団体)

を紹介します

- | | |
|---|---------------|
| ① | 会長名 |
| ② | 連絡者名 |
| ③ | 連絡者の住所・又は勤務先名 |
| ④ | ③の電話番号 |

④ 5 2 2 2 1 1 1 内 6 2 0	③ 課 東 芝 堀 川 町 工 場 厚 生	② 作 間 牧 夫	① 沼 尻 眷	ル 協 会 川 崎 市 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 協 会	④ 2 4 4 4 9 8 1	③ 市 立 川 崎 高 校	② 吉 田 敏 郎	① 宮 原 修	会 川 崎 市 バ レ ー ボ ー ル 協 会	④ 7 3 3 3 1 1 1 内 2 2 3	③ 中 原 区 役 所 市 民 課	② 高 橋 章	① 柏 木 進 一	川 崎 野 球 協 会	④ 4 2 8 0	③ 0 3 (7 8 1) 	② 1 3	① 品 川 区 戸 越 5 の 5 の	川 崎 市 陸 上 競 技 協 会
④ 3 5 5 1 3 1 5 (直)	③ 所 日 本 鋼 管 ・ 京 浜 製 鉄	② 日 本 鋼 管 ・ 京 浜 製 鉄	① 本 村 健	川 崎 市 軟 式 庭 球 協 会	④ 2 6 6 5 4 9 5	③ の 1	② 川 崎 区 川 中 島 1 の 16	① 中 野 一 雄	川 崎 市 庭 球 協 会	④ 5 2 2 5 2 5 1 内 2 6 3	③ 明 治 製 菓 川 崎 工 場	② 古 谷 保	① 柏 木 進 一	川 崎 卓 球 協 会	④ 7 7 7 1 1 1 1 内 3 4 7	③ 富 士 通 川 崎 工 場	② 渡 辺 誠	① 田 中 正 諄	川 崎 市 バ ド ミ ン ト ン 協 会
④ 2 3 3 5 6 6 5	③ 川 崎 区 榎 町 7 の 3	② 左 沢 重 明	① 柏 木 進 一	川 崎 山 岳 協 会	④ 3 3 3 7 1 1 1 内 6 2 5	③ 富 士 電 機 ・ 川 崎 工 場	② 木 村 三 郎	① 柏 木 進 一	川 崎 市 相 撲 連 盟	④ 3 3 3 3 5 4 1	③ 昭 和 電 工 ・ 川 崎 工 場	② 小 口 常 雄	① 高 橋 憲 太 郎	川 崎 市 弓 道 連 盟	④ 2 4 4 8 3 5 1	③ 川 崎 市 消 防 局 教 育 課	② 鳥 丸 政 雄	① 結 城 貢	川 崎 市 剣 道 連 盟
																			川 崎 市 柔 道 協 会

 <p>④ 内302</p>	<p>④ 川崎市ラグビーフットボール協会 ③ 山田元彦 ② 今村貞 ① 東芝・小向工場 511-1111</p>	<p>④ 川崎スケート協会 ③ 浅野浩志 ② 浅野浩志 ① 幸区幸町2の691 522-2761</p>	<p>④ 299-0171</p>	<p>③ 川崎市港湾局埠頭事務所 ② 山本信義 ① 鈴木正儀</p>	<p>④ 川崎水泳協会 ③ 青木保治 ② 福島宣充 ① 市立下平間小学校 522-3303</p>
---	--	--	-------------------	--	---

<p>④ 川崎地区高等学校体育連盟 ③ 細野理介 ② 毛塚久 ① 県立多摩高校</p>	<p>④ 川崎市サッカー協会 ③ 斉藤文夫 ② 吉岡幹雄 ① ミキ・スポーツ 822-8885</p>	<p>④ 川崎市少林寺拳法連盟 ③ 市川代三郎 ② 松井洋介 ① 高津区野川70の7 788-1495</p>	<p>④ 川崎市空手道連盟 ③ 三輪潔 ② 須山泰宏 ① 川崎区伊勢町26の15 233-1069</p>	<p>④ 川崎市体操協会 ③ 武井長七 ② 山本十三二 ① 市立川崎中学校 222-7186</p>
---	---	---	---	--

④ 川崎市中学校体育連盟
③ 小田豊
② 酒井利男
① 市立中原中学校
722-3396



第三十五回国民体育大会関東地区大会(ミニ・国体)が、八月下旬を中心に神奈川県下の7市1町で二十四種目にわたり開催されました。川崎市では、バスケットボール競技と庭球競技場が川崎市体育館・日本鋼管体育館・富士見庭球場の三会場において熱戦を展開しました。それでは、地元・神奈川の動きを中心にご報告しましょう。

初日の八月三十日(土)は、冷夏といわれた今年の夏としては暑い日となり、関東7都県から参加した選手たちも汗にまみれながら、国体本大会への出場を目指して健闘しておりました。庭球では、神奈川の強さが、目立っていました。バスケットボール競技では、成年女子の部が、一回戦で敗退したのは残念でした。最終日の八月三十一日

(日)は、前夜に続く雨が心配されましたが、時折、雨がちらつく程度で、コンディションは最高というわけにはいきませんが、庭球競技は、予定通り行なわれ、神奈川は、昨日に続き、強さを発揮し、全種目にわたり本大会へのバスケットを手に入れました。バスケットボール競技は、少年女子が千葉に接戦の末、敗れました。神奈川、最後の期待を担った、少年男子が奮起し、東京を接戦の末にしりぞけ、代表権を獲得しました。

2日間にわたり展開されたミニ・国体は、こうして幕を閉じましたが、今度は、本大会での活躍が大いに期待されるところであります。



川崎市体育協会

加盟団体の紹介

(第一回)

弓道連盟

弓は原始の時代より人間の生活に密着し食糧を得るための道具から勢力を拡大する戦具となり、最近でも未開地では原始同様の用い方をしておりますが、先進国ではスポーツに大いに利用しております。弓にはアーチェリーにみられる短弓と日本古来の伝統ある長弓があります。日本の弓は武器としては鎌倉時代まで大いに発達して参りましたが、その後鉄砲の渡来により武器よりも身心の鍛錬に重要な道具として用いられるようになり、徳川時代には武士の間の競技にもつかわれ又一般庶民の間にも半弓矢場など遊芸の中に溶け込み大奥や吉原などの女性の中には御座敷弓として約

三十櫃程の弓と十櫃程の矢で遊んだ記録もあります。この様な弓は時代の流れとともに庶民の中に生き又その時代を支配する人々の間に利用されてはいましたが高度な精神的要素を必要とする『弓道』道を兼ねそなえた弓の修練は深く広く人々の中に入り込みその人格の形成と健康の保持、人間関係の確立に大きく役立っています。

川崎市の弓道は戦前より多くの先輩や名人達人を輩出しており、終戦後は他県にさがけて弓道会を設立し戦後の「スサン」だ人々の気持に活力を与へてくれました。弓道連盟は現在加盟団体十六、人員も二百名を超え県下でも有数な組織選手を持ち、毎年県大会でも上位に位置しております。又毎月一回の月例会は試合度胸と選手の養成に大いに役立っています。昨年富士見公園に新しい道場

が出来ました。早く夜間使用が可能になり多くの市民の方々が参加練習が出来ればと、会員一同考へております。

剣道連盟

本市の剣道連盟は、神奈川県剣道連盟にさがけて、昭和二十七年に発足しました。役員として、会長、副会長三名、理事長一名その他若干名の常任理事及び理事によって構成されています。

さて川崎市が区制を施行し、これに伴い、市剣道連盟としても組織の拡充を図り、昭和四十九年四月より、区剣道連盟が発足することになりました。剣道を通じ青少年の育成として健全なる体力、円満な人格の形成を目的に、本市剣道連盟の年間に、本市として、六月に市制記念大会、九月川崎創立大会、十月婦人剣道大会、十一月市民総合大会、二月に建国記念大会とそれ

ぞれ活発に開催されています。その他の行事として、一級の審査年三回、二級より六級の審査を各區毎に年二回実施し、剣道振興に努力しています。その他全国大会、県大会においても数々の優秀な成績を残しており、特に最近八月二十四日県立武道館で開催された第二十四回県青少年剣道選手権大会に優勝し、県下

剣道の中心的役割をはたしています。こうしたことから本市の剣道愛好者も人口増に伴い約一〇、〇〇〇名と一種の剣道ブームと言われる程多くの青少年が剣道に志を抱きながら、武道館、或は道場、学校等を心身の鍛錬として、自らさがし求めている姿があり、この様な青少年の夢を少しでもかかえてやりたいものと、市剣道連盟は努力している。

役員名 会長 結城貞副会長 保坂博、浦上満義 小林完一、理事長上野富夫

体操協会

体操協会は、次のような事業を行なっている。一、競技会

- ◎春季市民体操競技会 参加対象者は、川崎市民か、川崎市内勤務者となっており、次のような部門に分け競技している。
- ①中学校の部、男女別
- ②高等学校の部、男女別
- ③一般の部、男女別

この六部門別に団体総合戦と個人総合戦、種目別戦を行っている。

尚、中学校の部は、全国中学校体操競技会の予選も兼ねている。本年度は、本市より稲田中の森尾さんが出場し、県大会で優勝。県代表に選出された。森尾さんは、さきの全日本ジュニア大会で優勝しているので全日中大会も優勝候補筆頭に挙げられた。

◎秋季市民体操競技会 春季大会と同じであるが、団体総合はなく個人

選手権方式であり、中学校は、学年別大会である。

二、市民体操教室

この教室は、市民の体力向上と体操の基本技能を養うねらいで実施している。参加対象は、小学生、中学生、家庭婦人。

内容は、マット、とび箱、縄、ボール等を使用している。

参加希望者が多く、今後は、会場を、南部、中部、北部と分け、実施日数も多くするよう計画中である。

三、家庭婦人体操教室

春に実施している。ねらいは、運動不足がちな婦人の体力向上と運動の楽しさを経験する。としている。

四、実技講習会

対象者は、中、高、一般の選手。体操競技の技能向上をはかるための練習方法、安全な補助のしかた。それに審判法などで川崎市、競技者の底辺拡大にも役立っている。

スキー協会

スキー協会は昭和十年には同好の志を集めて協会の前身である、川崎スキークラブを設立、シーズンには志賀、野沢温泉スキー場で市民スキー大会及び講習会を行なった。戦後は市教育委員会体育課の市民に対する冬期社会体育の指導啓発により多くの指導員をもつ組織となりました。

組織概要

- 会員登録数 六七七名
- 中学、高校 若干含む
- 加盟団体数 三一団体
- 指導員登録数 一四〇名
- 正指導員 三五名
- 役員、常任理事 三七名
- 活動状況 (五五年度)
- 市民スキー映画会 十月十七日(金)六時開演 産文大ホール 千五百名
- 新日本スキー教程他 抽選会、景品多数
- スキー理論講習会 一月二日(水)産文会議室

○ 市民スキー教室

- 一月十四日(水)十八日(日)
- 三泊四日蔵王スキー場 SAJ指導員派遣
- 市民スキー大会 二月十三日(金)十五日(日)
- 長野県信濃平スキー場
- 親子スキー教室 三月二六日(木)二九日(日)
- 二泊三日長野県車山スキー場、参加二五〇名
- 年々盛況申込はお早目
- 北海道ツアー 三月上旬、二泊三日

札幌国際スキー場四〇名

これらの事業は、初心者には初心者なり、また、上級者は上級者なりに、極めて巾の広い技術の向上と、楽しみ方が出来る。小学生から成年、壮年と社会体育を目的とした生涯スポーツとして、川崎市民のスキーに対する協力と御理解を賜り、役員一同、張り切っています。協会加盟、要望等、何でも、お問合せ下さい。

トピックス

川崎市体育協会史発刊!

昭和二十三年川崎市体育協会が設立、三十周年記念行事の一環として、体育協会史が発刊され、川崎市の体育協会の歩みが発表されました。

等々力公園庭球場夜間照明工事計画さる!

富士見公園庭球場に続いて等々力公園庭球場八面に夜間照明工事が計画されています。両公園あわせると二十面に、勤労者にとっては素晴らしい贈りものとなり、完成が待たれています。

神奈川県総合体育大会開かる!

昭和五十五年九月二十八日、県体育センターを主会場に十五種目競技で開催されました。川崎市からは代表二百余名が出場、昨年は県下二十六郡市中優勝! 本年も連続優勝!

昭和五十六年全国高等学校総合体育大会開催!

一般に言う「インターハイ」が来年八月開催され、私達川崎ではバスケット競技が行なわれます。全国より各県の代表が集り、素晴らしい試合が開催されることでしょう。

昭和五十六年県中学校総合体育大会開催!

昭和五十六年七月 中学生の県内の代表が集合、熱戦が展開、友情の輪が拡がると思えます。

II スポーツの秋 II に

「スポーツ教養講座」開催

川崎市体育協会では、川崎市教育委員会と共催で、昨年に続き、「スポーツ教養講座」を開催します。

今回の講座も、広くスポーツに関する情報を市民の皆様方に提供するもので、特に今回は、今、話題となっている、「こどもの基礎体力」についての講演も含まれています。スポーツの秋を迎え、「スポーツをみる」、「スポーツをする」、そして今、「スポーツを学ぶ」ことにも意味があるとは思いませんか。皆様方の参加を期待します。

プログラムは、次のとおりです。
第1回 10月29日(水)
「これからのスポーツ」

- 第2回 11月6日(木) 「こどもは風の子・太陽の子」(就学前児童の体力づくり)
- 第3回 11月6日(木) 「記録への挑戦」(どこまでのびるかマラソンの記録)
- 第4回 11月12日(水) 「選手と共に」(甲子園優勝監督に聞く)
- 第5回 11月19日(水) 「こどもは風の子・太陽の子」(小学生時代の体力づくり)
- 第6回 11月19日(水) 「現代病とスポーツ」(高血圧・心臓病・腰痛等をどこまで克服できるか)
- 第7回 11月26日(水) 「企業内における健康・体力づくり」

会場は、中原市民館(南武線・東横線「武蔵小杉」下車、徒歩3分)です。

時間は、午後6時〜8時。なお、第2・5回目の「子どもは風の子・太陽の子」は、午後1時半〜3時半までです。なお、講師の都合で、一部、プログラム・日程が変更になることもあります。

広報委員長

になつて

浅野浩志 (市スケート協会長)

今回広報委員長に選任されましたが、何分にも素人で、果して市民皆様の御期待に添えるような、編集発行が出来るかどうか、心配です。然しながら、各委員方の情熱と、御努力と御協力によって、所期の目的を果せるものと、確信しております。今回川崎市体育協会の総

意によって、市体協の現況を市民にPRし、明るく、豊かな市民の健康・体力づくりに取組んでいる真実を伝える為に、年二〜三回体協現況だよりを「スポーツ川崎」として発刊が決定しました。

この「スポーツ川崎」は市民皆様に、体協の現況と、将来に向けて、如何なる方途を明示出来るか、僅かな予算では寸時不安がないとは云へませんが、努力して行きたいと存じます。

現在川崎市体育協会は別掲二〜三頁掲載の体育団体加盟二十三団体の他に、直接関接に市民の体育振興と明るい家庭・健康川崎を目指して、スポーツ少年団の育成に補助金を出して、少年スポーツの育成強化を図っています。又家庭婦人の美容と健康に簡単な誰でもすぐ参加出来るママさんバレーボールの育成発展を市教育委員会と相携へて

努力しています。今回の「スポーツ川崎」の編集をお引受けした編集委員は次のとおりです。今後共よろしくご指導、ご叱咤の程お願いいたします。

広報委員会名簿

氏名	所属団体	氏名	所属団体
浅野浩志	スケート	名取治昭	バスケットボール
上野富夫	剣道	山本信義	スキー
佐々木芳高	庭球	渡辺誠二	バドミントン
新藤正幸	水球	前田修	サッカー
古谷保	卓球		

次号は56年3月発行、ご期待下さい。

